

# Nara Women's University

## 第三部 年次活動報告(2015年度)1.学内連携 高大連携特別教育プログラム

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学教育システム研究開発センター 公開日: 2018-06-28 キーワード (Ja): 学内連携, 高大連携特別教育プログラム, 男女行動参画社会をリードする女性人材の育成をめざす 高大連携特別プログラム, 奈良女子大学, 奈良女子大学附属中等教育学校, 年次活動報告(2015年度) キーワード (En): 作成者: 奈良女子大学教育システム研究開発センター メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10935/4751">http://hdl.handle.net/10935/4751</a>

## 1. 学内連携

### 高大連携特別教育プログラム

本学と附属中等教育学校は、「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成をめざす高大連携特別教育プログラム」を、下記にある目的を達成するために、2009年度の6年から実施している。女性リーダーを育成するために、中等教育段階から高大が連携して教育プログラムを実施するものである。これは、本学では初めての高大接続を目指すものでもある。

#### 1. 目的

奈良女子大学は、基本理念に「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成」を掲げ、2004年度の国立大学法人化に際しても、この理念の実現は国立女子大学として目指すべき最も重要な中期目標としてきた。

附属学校園を有し、様々な取り組みを実施してきた本学は、高等学校教育との接続を視野に入れて、その目標である「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成」の強化を図るとともに、高大連携・接続の観点を踏まえた入学者選抜方法を検証するために、附属中等教育学校と連携して本プログラムを実施する。

#### 2. 概要

- (1) 大学と附属中等教育学校が連携・協力して、附属中等教育学校の4・5・6年生（女子）を対象に、大学の教育の三本柱である教養教育・専門教育・キャリア教育につながる「教養基礎」「専門基礎」「キャリア基礎」という3つの教育プログラムを実施するとともに、附属中等教育学校(後期課程)から大学の学士課程への7年間を見通した教育システムを研究開発する。
- (2) 高大連携特別教育プログラムの履修生に対する追跡調査を含む同プログラムの研究のため、本プログラムを履修した附属中等教育学校生（女子）を対象とする「高大連携特別教育プログラムに基づく特別選抜」を実施する。

#### 3. 高大連携特別教育プログラムに基づく特別選抜

- (1) 募集人員 7名以内で、すべての学部・学科で募集  
文学部 文学部として志望し、文学部で2名以内  
理学部 学科別に志望し、理学部で2名以内  
生活環境学部 学科・専攻別に志望し、学科・専攻で1名以内で、生活環境学部で計3名以内
- (2) 出願資格 ① 特別教育プログラムを受講し、修得見込みの者  
② 本校後期課程の成績が一定基準以上の者  
調査書の教科全体の評定平均値が4.0以上で、かつ、各学部・学科の指定する教科の評定平均値が4.2以上  
※生活環境学部については、学部・学科が指定する教科（大学入試センター試験の利用教科・科目）を附属中等教育学校で履修していること
- (3) 出願期間 8月中旬頃
- (4) 選抜方法等 ① 特別教育プログラムの履修状況・履修成績

② 6年アカデミックガイダンス(AG)の成績

※6年のAGは、志望学部・学科の講座を受講しなければならない

③ 調査書の内容

④ 小論文・面接(9月中旬に実施)の成績

以上の①～④を総合的に評価して合否を判定し、9月末に合格を発表する。

なお、大学入試センター試験は課さない。

※ 小論文、面接の実施の有無については、各学部・学科で決定する。

#### 4. 2015年度の総括

中等教育学校生徒の大学講義の受講や大学教員の指導および、附属中等教育学校との連携もスムーズに行え、履修者3名全員が特別選抜に合格し、順調に進んでいる。

<高大連携特別教育プログラムの概念図>

### 奈良女子大学 高大連携特別教育プログラム

■奈良女子大学 目標■

男女共同参画社会をリードする女性人材の育成

